

令和 2 年 7 月 7 日現在

機関番号：42414

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2019

課題番号：16K02431

研究課題名（和文）児童文学におけるロビンソン変形譚の受容研究 「食」が示す「生きる力」の考察

研究課題名（英文）Robinsonades for Children in Japan: A Consideration of "Power to Live" Represented by "Food" in Children's Literature

研究代表者

水間 千恵 (Mizuma, Chie)

川口短期大学・こども学科・教授

研究者番号：20591803

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,000,000円

研究成果の概要（和文）：ロビンソン変形譚とはデフォーの『ロビンソン・クルーソー』（1719）を起点とする文学ジャンルのことである。子ども向けの縮約版や翻案は世界中で出版されており、日本でも、翻訳と日本人の作品がともに明治期から子どもたちに読まれてきた。

本研究は、日本における子ども向けの変形譚の歴史を明らかにすることを通じて、新たな角度から近現代児童文学史を綴るものである。翻訳作品と日本人作家の作品を区別せず、「日本の子どもたちが読んできた」変形譚の中で描かれる「食」に注目して物語を読み解くことによって、子どもの本に潜むイデオロギーの変遷、児童文学をめぐる多様な力学、大人が子どもに対して抱く期待等を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の成果は、次のような点にその意義が認められる。(1)日本におけるロビンソン変形譚の歴史を明らかにすることによって、近現代日本児童文学史に新たな情報を加えた。(2)「食」をめぐる表現の分析を通じて、児童文学作品が現代社会を生きる子どもたちに与える力を明らかにした。(3)児童文学のもつイデオロギー性を、ナショナリズムやジェンダーの観点から明らかにし、読者の役割について指摘した。(4)アニメーション版ロビンソン変形譚研究に先鞭をつけた。(5)児童文学作品を通して異文化理解や歴史認識を学ぶことの危うさを指摘し、大人の媒介者の役割について提言を行った。

研究成果の概要（英文）：The Robinsonade is a literary genre that has its origin in Daniel Defoe's Robinson Crusoe. Since the novel's publication in 1719, many abridged versions and imitations for children have been published all over the world. Japanese children, too, have enjoyed various Robinsonades since the Meiji period, both through translations and Japanese original versions.

This study clarifies the history of the Robinsonade for children in Japan and sheds new light on the history of modern Japanese children's literature. Focusing on the "food" depicted in the Robinsonades that were written by both Japanese and foreign authors, we can see the changing ideology of children's books, the dynamics of children's literature, and adults' expectations for children.

研究分野：児童文学

キーワード：児童文学 児童文化 ロビンソン変形譚 ジェンダー 文学史 冒険小説 読書推進

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

申請者はかねてより、Martin Green と岩尾龍太郎による先行研究をふまえて、児童文学領域におけるロビンソン変形譚の研究に取り組んでおり、2009年にはその成果を学術書『女になった海賊と大人にならない子どもたち ロビンソン変形譚のゆくえ』(玉川大学出版部)として出版した。同書は、イギリス児童文学の黄金時代と評される19世紀半ばから20世紀半ばにかけて出版された子ども向けの代表的な変形譚を、「男性性」という切り口で通時的な分析を試みることによって、国家のイデオロギー装置たる機能と反体制的な性質を同時に内包するロビンソン変形譚の両義的特質を子ども読者との関係において明らかにし、児童文学の本質に関する重要な手がかりを提示したものである。ただし、同書に集約されたこれまでの研究は、もっぱらイギリスの作品のみを扱い、手法においても目的においても、英文学研究の一領域としての児童文学研究の域をでるものではなかった。

日本の児童文学研究におけるロビンソン変形譚研究の状況に目を転じてみると、ジャンルの全体像を描くような総合的な研究はこれまでまったくなされていなかった。この分野の研究は、内容上、『ロビンソン・クルーソー』の翻訳受容史、デフォー作品以外の変形譚の翻訳受容史、日本独自の变形譚(純粋和製ロビンソン変形譚)の歴史、という3方向からのアプローチが必要となるが、このうちは有力かつ重要な先行研究がいくつかあるものの、はほぼ手つかずの状況にあることもわかった。申請者は、本研究開始時点において、の起点に位置づけるべき作品(石井研堂著『鯨幾太郎』)の同定まで行っていた。

デフォーの作品が近代日本児童文学の黎明期に翻訳出版され、以来こんにちに至るまで子どもの本棚の一隅を占めつづけていること、しかも、その影響下に創作された作品も途切れることなく次々と登場し、子どもたちに読まれてきたことを考慮すれば、ロビンソン変形譚の歴史を語ることは、日本の近現代児童文学史を語ることに直結する。加えて、日本の子ども読者とのかわりから個々の作品を論じることは、児童文化財について語ることに、さらには、子どもをとりまく文化環境を語ることに繋がる。しかし、こういった視点、すなわち、日本人作家の手になる作品と翻訳作品とを、「日本の子どもたちが受容してきた物語」という観点から等しく対象とする調査や考察は、これまでの児童文学研究には欠落していた。

申請者はこのような観点から準備を始めて、日本における子ども向けロビンソン変形譚の通史についてその概要をつかみ、本研究の開始時点では、さらなる調査および情報収集によってその通史を補完しつつ、設定したテーマに沿って個別作品の精緻な分析と考察に着手すべき段階にあった。

### 2. 研究の目的

(1) 子ども向けのロビンソン変形譚について、日本の作家の手になる作品と翻訳作品を区別することなく、日本における受容史の全体像を明らかにし、日本の近現代児童文学史研究に有益な資料を提供する。

(2) 明治以来、日本で出版されてきた子ども向けのロビンソン変形譚の変化を探り、その意味を社会的文脈と結びつけて考察することによって、児童文学作品のもつ新たな側面を明らかにする。

(3) 子ども向けのロビンソン変形譚を素材に、時代や社会によって変化する作品の性質や作品解釈の在りようを検証することによって、児童文学に沈潜するイデオロギーや、子ども向けの本と子どもの読書をめぐる力学を解明するのに有益な手掛かりを得る。

(4) マンガやアニメーション等、異媒体で表現されたロビンソン変形譚についての調査を通じて、子どもの物語受容の現状をとらえ、その特徴を明らかにする。

### 3. 研究の方法

ロビンソン変形譚というジャンルに属する作品群は、テーマ、プロット、状況設定等を共有するがゆえに、相互比較の素材として適性をもつ。本研究はこのようなジャンルの特性を活かして、作品に登場する「食」という共通要素に着目することによって、通時的あるいは共時的観点から、作品の比較分析を行う。先行研究のない分野については、作品の掘り起こしと収集から行う。

### 4. 研究成果

(1) 日本におけるロビンソン変形譚研究の3領域のうち、最も研究が進んでいない「純粋和製ロビンソン変形譚」に焦点を絞って、国立国会図書館国際子ども図書館、大阪府立国際児童文学館、高知県立図書館等での調査を行い、作品および情報を収集した。その結果、純粋和製ロビンソン変形譚の起点たる石井研堂の『鯨幾太郎』から、野村長平と中浜万次郎という実在の漂流民をモデルとするふたつの流れを見だし、それぞれに属する作品群を数多く掘り起こして、全体像を示すことができた。結果として、純粋和製ロビンソン変形譚の初期の歴史を明確な形で提示することができたといえる。成果は学会発表を経て、報告書論文にまとめた。

(2) 野村長平をモデルにした作品群のなかから、創作年代の異なるフィクション4点の「食(ア

ホウドリ)」をめぐる記述を比較分析した。その結果、明治、昭和前期、昭和後期・平成と時代を経るにつれて、物語のなかでのアホウドリに対する認識が、「モノ」、「食べもの」、「生きもの」へと変化していくさまが浮かびあがってきた。この変化に、それぞれの作品が生み出された時代背景を重ねることによって、人間観、自然観ならびに人間と自然の関係の変化が児童文学作品に表出しているさまを読み解いた。成果は学会発表を経て、論文にまとめ、さらに情報と考察を追加して報告書論文にまとめなおした。

(3) 中浜万次郎をモデルにした作品を網羅的に収集し、そのなかからとくに外国人が描いた変形譚と日本人作家による変形譚を比較分析した。万次郎を描いた作品は、そもそも孤島生活部分が短いのが常であるが、外国人の手になる作品はさらにその傾向が顕著で、立身出世譚の性質が強くなることを明らかにするとともに、日本の作品のテーマ(困難な状況下で諦めないことと忍耐の重要性)と外国作品におけるテーマ(自助努力による社会階層の上昇)の違いを指摘した。この点については国際学会にて発表を行い、アメリカ人作家による日本文化表象の歪みについても意見を交わし、そこで得た知見の一部を論文にとりこんだ。

(4) 捕鯨に関する基本的な研究書を網羅的に読み、基礎知識を得たうえで、古式捕鯨の発祥の地である和歌山県牟婁郡ならびにふたつの鯨組を抱えた高知県室戸地方の史跡や博物館を訪ね、捕鯨の歴史と文化について学ぶのと並行して、捕鯨を描いた変形譚以外の児童文学作品を収集し精読したことにより、野村長平と中浜万次郎をモデルとした変形譚で「アホウドリ」とともに共通して描かれている「クジラ」について、子どもの本における文化的な意味を考察する手掛かりを得た。その手掛かりをもとに変形譚の分析を行い、「アホウドリ」がその商業的価値を秘して「便利で都合の良い食料」あるいは「ありがたい食べもの」となり、やがては「命の尊さを感じさせてくれる生きもの」として美化されていくのに対して、「クジラ」は一貫して、物語の主人公たちが英雄となるための試金石であると同時に、ナショナリズムの象徴として描かれてきたことを明らかにした。この点については、報告書論文にまとめた。

(5) 女性サバイバー像からロビンソン変形譚の歴史を編む作業に取り組んだ。19世紀から20世紀前半までに創作された作品を出版年代順に追いながら、そこで描かれている女性像を無人島における食糧調達への寄与という面から分析し、その変化を論文にまとめた。そこで明らかにしたのは、脇役に過ぎない女性たちの在りようにも、他者に対する覇権的な力の誇示によって支えられてきた伝統的な冒険小説のイデオロギーを解体する可能性が秘められていたということである。そのいっぽうで、脇役から主役へと物語のなかでの位置を変えても、女性たちの役割が「母性」に関連づけられる領域にひきつづきとどめられていたことも明らかにした。

また、先住民少女を主人公に据えたスコット・オデルの『青いイルカの島』をとりあげて詳細な分析を行い、動物を殺すことを拒否するベジタリアン・サバイバーの登場という点で、同作が変形譚史の転換点に位置づけられることをあらためて確認したうえで、異文化表象という点でこの作品が抱える大きな問題点を明らかにし、学会発表を経て、報告書論文にまとめた。さらには、日本におけるこの作品の初期の受容状況を詳らかにし、そこで作用していたジェンダーをめぐる力学に光をあてたうえで作品に対する評価の変遷を追うことによって、子どもの読書における大人の役割について重要な提言を行った。

(6) アニメーションとマンガで表現されたロビンソン変形譚に関して、情報収集と基礎資料の作成に取り組んだ。変形譚の3領域を意識しながら、体系的な収集に努めたが、その過程でわかったことは、映像作品の収集が大変困難であり、文化保存という観点から、アーカイブス施設・機能の拡充が望まれるということであった。そのような制約がありながらも、作品情報の収集と作品の実見・分析に努め、その成果の一部を論文にまとめた。女性キャラクターの造形分析によって、(5)を補完する結論が得られたいっぽうで、媒体の違いによって子どもの視聴者・読者にもたらされる物語との関係性の築き方の違いについて検証する必要性の高いことが浮かびあがってきた。

(7) 野村長平と中浜万次郎をモデルとした変形譚についてその全体像を明らかにするために、国立国会図書館や大阪府立国際児童文学館に加えて、彼らの出身地にある高知県の図書館や資料館を訪ね、郷土史料の収集を行った結果、創作物語としての変形譚のみならず、郷土の偉人伝や伝承にもとづく伝説という形態での物語も収集することができた。このことをふまえて、同様の観点からの資料収集を、実在の先住民女性をモデルとした『青いイルカの島』についても行った。これらの取り組みを通じて、実話をもとにしたフィクションという体裁をとることの多いロビンソン変形譚の本質にかかわる論点を新たに得るに至った。すなわち、「歴史」と「物語」の違い、それらが読者に与える影響の違い、歴史物語のもつイデオロギー性である。さらにはそういった内容をふまえて、児童文学の作り手(作家、編集者、出版者、翻訳者等)や媒介者(司書、保護者、教員等)たる大人が果たすべき役割についても、報告書論文にて明らかにした。

(8) 図書、講演、ウェブサイトへのエッセイ原稿提供等を通じて、上記のような研究成果を広く一般社会に還元した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 水間千恵	4. 巻 32
2. 論文標題 テレビアニメのロビンソンたち 『冒険ガボテン島』と『無人惑星サヴァイヴ』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 川口短期大学紀要	6. 最初と最後の頁 149～163
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） file:///C:/Users/advent/Downloads/12_mizuma.pdf	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 水間千恵	4. 巻 15
2. 論文標題 女性サバイバーの労働 ロビンソン変形譚におけるジェンダー	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日月	6. 最初と最後の頁 7～18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水間千恵	4. 巻 31
2. 論文標題 サバイバーの食卓 鳥島のロビンソン	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 川口短期大学紀要	6. 最初と最後の頁 9-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） <a href="https://saigaku.repo.nii.ac.jp/">https://saigaku.repo.nii.ac.jp/</a>	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件/うち国際学会 1件）

1. 発表者名 水間千恵
2. 発表標題 日本のロビンソンから考える物語の多面性 土佐の長平をめぐる伝説、創作、教材
3. 学会等名 日本児童文学学会第57回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 水間千恵
2. 発表標題 日本にやってきた女性サバイバー Island of the Blue Dolphinsの受容
3. 学会等名 日本イギリス児童文学学会第47回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chie Mizuma
2. 発表標題 When a Japanese Robinsonade Changes into an American Success Story: A Study of the Stories Based on the Life of NAKAHAMA Manjiro
3. 学会等名 The 23th Biennial Congress of International Research Society for Children's Literature (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 水間千恵
2. 発表標題 鳥島のロビンソン 土佐の長平をめぐる物語の変遷
3. 学会等名 日本児童文学学会第55回研究大会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 水間千恵ほか4名	4. 発行年 2017年
2. 出版社 原書房	5. 総ページ数 453
3. 書名 「時」から読み解く世界児童文学事典	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>水間千恵、「純粋和製ロビンソン変形譚と『食』」、査読無、『平成28年度～平成31年度科学 研究費 基盤研究(C)研究成果報告書 児童文学におけるロビンソン変形譚の受容研究 「食」が示す「生きる力」の考察』、2020年3月、pp. 1-36</p> <p>水間千恵、「女性サバイバーと『食』」、査読無、『平成28年度～平成31年度科学研究費 基盤研究(C)研究成果報告書 児童文学におけるロビンソン変形譚の受容研究 「食」が示す「生きる力」の考察』、査読無、2020年3月、pp. 37-84</p> <p>水間千恵、「ピーター・パンの世界」、招待講演、名古屋芸術大学芸術学部芸術学科デザイン領域（於：名古屋芸術大学）、2019年11月</p> <p>水間千恵、ウェブ連載コラム「サバイバーの非常食 ロビンソン変形譚こぼれ話」（<a href="http://sola.mon.macserver.jp/clm/clm_tp.html">http://sola.mon.macserver.jp/clm/clm_tp.html</a>）</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----